

人も動物も、大人も子供も、 みんな一生懸命に生きていた。



〔ごあんない〕 このお芝居は、童話『猫は生きている』早乙女勝元・作、絵・田島征三
を原作として、脚本家大久保昌一良が脚色・演出したものです。

大久保昌一良は、福井県出身の脚本家で「華の嵐」、「しゃぼん玉」、「水戸黄門」、「まんが道」そしてアニメ映画「対馬丸」、「ルパン3世」などの脚本を手がけてきました。ところが今年（2011年）の2月11日、脳梗塞のため急逝してしまいました。

原作では、東京大空襲の際に縁の下に住み着いていた母猫（稲妻）とその子猫たち（4匹）と銃後を一人守っていた母と子ども（昌男、光代）の空襲体験を生々しく描いています。

この猫一家と母と子どもの7役を、女優・福井淑恵が音楽（アコーディオン、ギター）とともに一人で演じています。空襲のすさまじい状況の中でも、一生懸命に生きていた人々や動物の心が感じられるものとなっています。

また、詩人・稲木信夫さんによる福井空襲の体験談とゆきのした文化協会による福井空襲展も同時開催されます。

原作者の早乙女さんは昌一良との対談の中で、東京大空襲の下で、人々だけではなく動物までも、どれほど苦しい思いをしたか、苦しかったけれどもいかに一生懸命に生きていたかを、子どもたちにもわかる形（童話）で伝えたかったと語っています。

また、昌一良は、「戦争は絶対にしてはならないという自分の強い思いを、私は仕事（脚本）をとおして訴えたかった」、一人芝居にした理由は、「招かれればどんなところへでも出かけて行って上演したいから」と語っています。そして、いつか故郷（福井）で上演したいと思っていました。

生前、昌一良に関わった私たちが力を合わせて、彼の遺志を実現させたいと考えまして、こうして上演を企画しました。子どもからお年寄りまで、どなたでも感動していただけるものと思っています。万障繰り合わせておいでください。

「猫は生きている」上演実行委員会

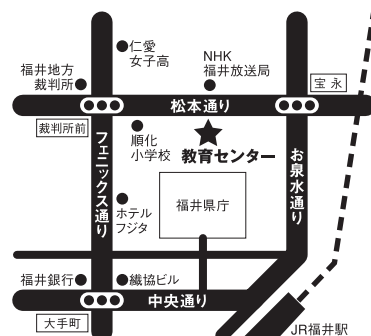
日時／9月23日(金) 開場18:30 開演19:00
会場／教育センター 大ホール (NHK前)

●出演

福井淑恵 (出演・歌)
中前智彦 (アコーディオン)
関根ゆたか (ギター)

●チケット代 (当日受付可)

中学生以下 500円
高校生以上 1,000円



後援／福井新聞 福井テレビ 福井ケーブルテレビ 福井県教育委員会
福井市教育委員会 新日本婦人の会福井県本部 福井のうたごえ協議会
福井劇の会

●チケットのお問い合わせ・連絡先 090-3768-5938 (大久保裕介)

ホームページ <http://www.2fctv.ne.jp/~yusuke3/hananoya.html>